

日本での交換留学

お茶の水女子大学
チェッカート・アリアンナ

4月に初めて日本に来ました。イタリアで日本語を勉強していても、最初は慣れるのが大変でしたが、どんどん良くなっていったので、日本に来て勉強するという選択をして良かったと思っています。初めての留学でしたが、お茶の水女子大学に入学してから日本で勉強し、生活したことは、日本語の知識を豊かにし、日常生活でもコミュニケーションを円滑にするのに役立った経験だと思います。お茶の水女子大学では、自分の日本語レベルに合った漢字、文法、会話の授業を受け、様々な話題や語彙を学びました。

授業は疲れることなく、先生たちはいつも親切に教えてくれたので、新しいことをたくさん学ぶことができました。実際、この大学に来てから、自分の考えを伝えることが少しずつ上達したと感じています。この大学では、着物、書道、浴衣の小



さなクラスも取りました。このような文化的なクラスに参加し、本やインターネットを通してしか見ることができなかったものを生で体験できたのは本当に面白かったです。歌舞伎の公演にも初めて参加することができ、とても楽しくて面白かったです。

勉強だけでなく、有名な都市だけでなく、出雲、松江、湘南海岸、四国など、日本の素晴らしい場所をたくさん訪れることができました。また、現地の人と交流したり、郷土料理を食べたりすることは、豊かな経験になると思いますし、旅先ではいつもとても親切な人たちに出会いました。留学することで、言葉をよりよく学ぶことができるのと同時に、多くの経験を積み、文化的背景を増やすことができます。私は皆さんに、あまり知られていない場所や有名ではないけれど、見る価値があると私が思う場所でも、できるだけ多くのものを見ることをお勧めします。それは間違いなく私の心に残る経験になるでしょう。これからも新しい場所を発見し、日本や日本の文化について多くのことを学んでいきたいと思います。

最後に、お茶の水女子大学でお世話になった多くの方々に感謝の意を表したい



と思います。指導教官である小谷正雄先生にはいつも支えていただき、ありがとうございます。交換留学生のみんなにいつも必要なことを説明してくれた萩原教授に感謝します。そして、国際課、国際教育センター、音羽館のマネージャーの皆さんはいつも親切で、質問があるときはいつも助けてくれました。毎週時間を割いてくれたチューターの真由子さんにも感謝しています。

最後に、この日本での大学生活の冒険で、いつも私のそばにいてくれたキアラに感謝します。来学期、日本語を勉強するのが楽しみです。頑張ります！